

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	防火管理業務研修会事業	所管	消防本部 予防課
			TEL 2929-9121

事業の目的 (何の為に 行うか)	各事業所の自衛消防隊員に対して防火意識の向上、消火などの技術向上を図り、防火管理体制と自衛消防組織の強化を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	防火管理者の選任を要し、屋内消火栓が設置されている市内各事業所の自衛消防隊員	対象とした数	0
		実際に 利用した数	0

活動の内容	(何を したか)	1 該当する事業所に研修会実施の通知を送付し、参加事業所の自衛消防隊員を募集する。 2 火災予防に関する講義及び消防用設備の取扱い、地震、煙体験等を実施する。 3 アンケートを実施し理解度を確認する。									
活動実績	項目名	事業所の参加自衛 消防隊員数	-----	単位	人	項目名	-----	単位	項目名	-----	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	197	115	679	2.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業所の参加自衛消防隊員数	事業所の参加自衛消防隊員数	-----	-----	-----
			単位	人	単位
			人	人	単位
					%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100200	TEL	2929-9121
事業コード	防火管理業務研修会事業					
100207						
開始年度		平成 20 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	なし						
	関連・類似事業	防火安全協会補助金(予防課)、防火管理講習会事業(予防課)						
	総計計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	2 火災の予防	小柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	コード		コード		コード	
	事業開始の背景 各事業所の自衛消防組織は消防法に基づき組織され、災害の初期段階において組織的に行動するものである。各自衛消防組織の構成員である自衛消防隊員への教育については、各事業所で実施されているが、消防職員による専門的な教育を行うことで防火管理の知識及び消火などの技術向上を図ることができ、自衛消防組織の強化に繋がるものである。また本事業は屋内消火栓操法競技会の代替事業として位置づけするものである。					

④前年評価と改善点	目的(何のために、具体的に)					
	各事業所の自衛消防隊員に対して防火意識の向上、消火などの技術向上を図り、防火管理体制と自衛消防組織の強化を図ることを目的とする。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	防火管理者の選任を要し、屋内消火栓が設置されている市内各事業所の自衛消防隊員			参加自衛消防隊員		
	単位	平成 18 年度		単位	平成 18 年度	
		平成 19 年度			平成 19 年度	
事業の具体的な内容及び実施方法						
1 該当する事業所に研修会実施の通知を送付し、参加事業所の自衛消防隊員を募集する。 2 火災予防に関する講義及び消防用設備の取扱い、地震、煙体験等を実施する。 3 アンケートを実施し理解度を確認する。						

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/>				
平成19年度中に改善した点						

《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算		114	197	18
決算 (見込み含む)		114	115	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
正規職員人件費		0.95 人 8,740	0.06 人 564	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
公債費				
事業費合計		8,854	679	
財源内訳	一般財源	8,854	679	18
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
その他				
市民一人当たり(単位:円)		26.2	2.0	
利用数一単位あたり(単位:円)		***	***	

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		事業所の参加自衛消防隊員数	事業所の参加自衛消防隊員数	人				80
成果分析	事業所の参加自衛消防隊員数	事業所の参加自衛消防隊員数	人	目標値			80	
				実績				実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
		%	達成率					

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体
<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
				<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題					
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	屋内消火栓操法競技会の代替事業として自衛消防隊基礎研修を実施する。	80人以上の参加を得る。		平成20年5月
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由 各事業所の自衛消防隊員に対する教育は各事業所で実施されているが、消防職員による専門的な教育を行うことで、防火管理の知識及び消火などの技術向上を図ることができ、自衛消防組織の強化に繋がるものである。このことは有事の際に人的、物的被害を最小限に留め、さらに災害を発生させない職場づくりの基本となるものであることからこの事業を継続していく。					
評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	予防課長 木下 雅孝		

⑨個別計画における方向性	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性				優先度	評価理由	評価日
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
次年度用事前評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
	評価日							
	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業		
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業		
	評価理由					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
	評価日							

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
基本目標						
主要課題						
施策の方向						